本物に出会う、触れる　２０１９

昨日の台風並みの豪雨が明け、今朝は初夏らしい空を見上げることができました。

少し暑い中ですが、今日は４年生が資源循環局金沢工場(焼却工場)の見学に出発しました。今週末の金曜日土曜日には６年生の日光宿泊体験学習、また現在３年生は「まち」を知るということで、地域探検をもとに大きな地図を広げ、釜利谷の「まち」の特徴をまとめています。

日頃、教室等で学ぶ机上での座学も大事ですが、実物を見る、実際に行く、実体験をする等々、「本物」に出会う、触れることは、子どもたちの学びをより身近なものにしたり、大きな感動を味わうことができたりします。こうした経験によってさらに次の疑問をもたせたり、もっと知りたいという探求の芽を育てたりすることが大きなねらいです。

またグループ活動を軸としながら学ぶことで、「自分たちで」という主体的な学びをつくることができ、その中でコミュニケーションも生まれてきます。疑問やトラブルを友達と協働(共同)しながら乗り越える力をつけることも、活動のねらいの一つです。

多くのねらいをもつ校外学習、体験学習ですが、体調面の管理や安全面のご注意など、ご家庭との連携協力体制は欠かせません。今後も続くこうした学びのスタイルにどうかご理解とご協力をお願いいたします。